

千葉県社会福祉士会 活動のオープン化についての提案（素案）

【提案の背景】

現在の本会の活動は、執行部を中心とした一部の会員の努力によって、会の活動が支えられている。しかし、それぞれの活動がどのように行われているのか、誰が行っているのかが見えにくい。

そのため、それぞれの活動を全体としての連携をとることが出来ない。一般の会員にはその活動が見えないため、活動への参加をすることが難しい。これがひいては議論の停滞や委員の成り手不足につながっているのではないかと思う。

【ねらい】

- ・会として行っている活動の共通理解を行い、活動の活性化と健全化を図る。
- ・会員の参加意欲を喚起する。
- ・会員外にも活動の様子を伝えることで会の認知度を高め、入会を喚起する。

【行うこと】

①会員名簿の共有

→規程第 13 号情報公開規程の改訂が必要

②委員会、部会名簿の共有

③活動報告（総会資料）の工夫

→どのような活動を行っているのか分からない。

→会員や関係者などへの周知は？

④委員、国研修の参加等の公募

→県社会福祉士会宛の依頼を基本的に会員に公募する。

☆提案事項の概要は以上。具体的な進め方については理事会、3 役の合意を得られた段階で相談しながらすすめたい。

2015 年 1 月 18 日

千葉県社会福祉士会理事 渋沢茂